

第92回メーデー アピール



◆県民のみなさん

今年5月1日は、第92回目（日本は101年目）のメーデーとなります。

メーデーの起源は、1886年5月1日、アメリカの労働者が8時間労働制を要求してストライキ・デモ行進を行ったことが起源で、「8時間は仕事のために、8時間は休息のために、残りの8時間はおれたちの好きなことのために」を掲げ、国際的連帯行動を世界に呼びかけた日です。

日本では、1920年5月2日、上野公園に5千人が集い、「8時間労働制の実現、治安警察法撤廃、失業の防止、最低賃金制の確立、シベリアからの即時撤兵」など要求して、労働者が決起したことが始まりです。

第92回メーデー宮城県集会は、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないなかで「参加者の健康と命を守る」ことを第一の理由として、「集会とデモ行進は行わず、アピールを発信」することにしました。

コロナ感染のリスクを負いながら、働く医療、福祉、教育をはじめとした労働者にエールを送ります。

いま、コロナ不況で実質GDPが前年比4.8%減と11年ぶりにマイナス成長となるなど日本経済は著しく落ち込み、多くの中小企業が大幅減益・赤字転落となるなど、コロナ倒産や、休業、労働者の解雇、雇止めも増加しています。特に非正規労働者・フリーランス・女性・若者は、経済的困窮に陥り、生計が立てられず、学生も学校に通えないなど極めて深刻な事態になっています。

格差と貧困の解消、好循環型社会を実現するため、賃金の引上げ「最低賃金いまずぐ1000円以上の実現」「同一労働同一賃金」を実現し「人間らしく働き、安心して暮らせる社会」をつくろうではありませんか。

◆県民のみなさん

コロナ禍で、これまで進められてきた新自由主義経済による弊害があらゆる分野で現れています。自公政権による「小さな政府」を掲げた公的サービスの効率化・予算削減、さらに菅政権は、「自助、公助、共助」を掲げる政治を進めています。コロナ対策では、経済対策を優先する一方、国民の命を守る医療体制の強化、社会保障を拡充するどころか、公的・公立病院の統廃合の推進、病床削減、年金の削減をすすめ、国民の命と健康を脅かしています。こうした新自由主義経済・自助を進める政治を転換しようではありませんか。

平和、外交では、アメリカとの軍事同盟をより深化させ、「積極的平和主義」を掲げ、「専守防衛」から「敵基地攻撃能力保持」など大軍拡の道に舵を切り、「9条改憲」を視野に「戦争する国」に突き進んでいます。

1月22日、世界中から核兵器廃絶を願う被爆者と市民の草の根の運動が結実し、核兵器禁止条約が発効しました。しかし、政府は、署名・批准せず、平和を願う、世界の人々の想いに背を向けています。「政府は核兵器禁止条約に署名・批准を」、「憲法9条を守り、話し合いによる平和外交を」「軍事費よりコロナ対策、医療、福祉、教育にまわせ」の世論と運動を太く・大きくしようではありませんか。

◆県民のみなさん

今後、衆議院議員総選挙、8月の仙台市長選挙、10月の宮城県知事選挙と重要な選挙が予定されています。これらの選挙では、「コロナ禍での雇用と暮らし」「東日本大震災から10年以降の被災者支援」「女川原発再稼働問題」「水道事業民営化問題」「東北労災病院、仙台赤十字病院、県立がんセンターの移転・統合問題」などが問われる重要な選挙が行われます。

来る総選挙は、「森友・加計問題」「桜を見る会問題」、「元法相の買収事件」「元農相の収賄事件」など、「金権腐敗政治」「政治の私物化」に対する国民の厳しい審判を下す選挙です。「市民と野党共同」の力で政権交代を実現し、「暮らし、平和、民主主義」が守られる社会を実現しようではありませんか。

世界の労働者と団結してコロナ危機を乗り越えよう！

第92回メーデー万歳！

2021年5月1日

第92回メーデー宮城県実行委員会

第92回

メーデー

一緒に行動しよう、
私たちの未来のために

働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう！

第92回メーデー 2021/5/1(土)

#メーデーで見える化
でツイート

第92回メーデー宮城県実行委員会

〒980-0022 仙台市青葉区五橋一丁目5-13 平和と労働センター県労連会館1階
TEL 022(211)7002 FAX 022(211)7004



コロナ禍での
休業補償・解雇・雇止めの
相談は
0120-378-060
宮城県労連に
お寄せください。

軍事費を削って、コロナ対策にまわせ／医療提供体制、公衆衛生体制の拡充／市民と野党の共同で政権交代を
8時間働いて普通に暮らせる賃金・働くルールの確立／いまずぐ最賃 1500円 全国一律最賃制の実現／シエンター平等社会の実現 多様性の尊重
消費税減税 不公平税制の是正 大企業の内部留保還元／国による被災者の生活と生業を支える復興／急げ気候変動対策 原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換
STOP! 戦争する国づくり 辺野古の新基地建設反対／オスプレイ全国配備撤回 核兵器禁止条約の早期批准を

◆安保破棄・諸要求貫徹宮城県実行委員会

政府は、軍事費を削り、コロナ対策に充てよ。国民の安全・安心を脅かす米軍の低空飛行訓練や155ミリリゅう弾砲の砲撃訓練は即刻停止。沖縄の民意実現は、国民の要求だ。

◆宮城県教職員組合

子どもの笑顔あふれる学校を創りたい。働きがいのある学校職場でありたい。子どもたち一人ひとりと向き合い、学びあえる学校であるために少人数学級の拡充を目指します。

◆東北大学職員組合

今春、定年後再雇用の賃下げを阻止し、「教授退職＝秘書解雇」の回避でも前進！県労委勝利～中労委勝利的和解の「雇い止め」問題で、裁判勝利と大学方針転換をめざします。

◆JMITU宮城地域支部

コロナ禍で待遇不満で離職する労働者が出ている中、労働組合に入れば労働組合の立場と職場のリーダーシップで待遇改善ができるという事を宮城で働く皆に知って欲しい。

◆福祉保育労組宮城支部

コロナ禍でも福祉労働者は福祉を守るために感染予防に全力を尽くしています。エッセンシャルワーカーに相応しい賃金・労働条件を国の責任で確保してください!!

◆新日本婦人の会宮城県本部

深刻化するコロナ危機、PCR検査の拡充など、コロナ対策最優先を！75歳以上の高齢者医療費の2倍加反対！もう我慢も限界、改憲許さず、命とくらしを守る政府に変えよう！

◆宮城県医療労働組合連合会

今、医療・介護・福祉の現場では、いのちと健康を守る奮闘が続いています。こんなとき病床削減・統合、高齢者医療負担二倍化は許されません！政治を変えていきましょう！

◆全労連・全国一般 宮城一般労働組合

「全国一律最低賃金制の確立」と「中小企業振興」の二大運動で暮らしと職場を守り、「非正規差別」をやめさせ、誰もが安心して暮らせる社会をつくりましょう。

◆宮城県民主医療機関連合会

医療・介護従事者は、新型コロナウイルスによりさらに過酷な状況の中で働いています。新自由主義の破綻は明白です。全国民が安心して暮らせる社会を目指して、共に頑張りましょう。

◆宮城県国家公務員労働組合共闘会議

子供や孫たちに、戦争できる法律や外国軍隊の基地、ただ働きや解雇自由の労働法は残しません。国民に「安心・安全な行政サービス」届けるためがんばります。

◆みやぎ青年ユニオン

医療・介護・保育・飲食業など、若者や非正規労働者が多く働く現場は新型コロナウイルスの感染リスクにさらされています。安心して働ける環境・十分な検査と補償を求めてともに頑張りましょう！第92回メーデー万歳！

◆婦人民主クラブ宮城県支部協議会

わたしたちは平和を手離さない！9条改憲に反対します。軍事費削って、コロナで苦しんでいる人たちに支援を！

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることをなげやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

メーデーの起源は…

1886年5月1日、長時間労働で苦しむアメリカの労働者が8時間労働を要求して約35万人がストライキに立ち上がったことが起源です。日本では1920年に第1回メーデーが東京・上野公園で1万人余が参加して開かれ、「8時間は働き、8時間は睡眠し、残りの8時間は自由な時間に」を掲げ、失業の防止や最低賃金法の設定、8時間労働制などを求めて開催したことが起源です。

実行委員会 加盟団体の一言 アピール

「戦争する国へ行く」許さなう!! 憲法に基づいて、平和を!

日本国憲法前文・9条・25条

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

◆宮城県高等学校障害児学校教職員組合

子どもも教師も輝く学校を。「せんせい増やせ!」、「高校でも少人数学級の実現を!」、そして「特別支援学校の設置基準策定を!」が大きな課題。団結して頑張りまーす。

◆宮城県社会保障推進協議会

日本の社会保障は「自助、共助、公助、そして絆」と、国の責任を大きく後退させています。社会保障費削減ストップとともに、これ以上の社会保障崩壊に歯止める大運動を!

◆平和・民主・革新の日本をめざす宮城の会 (宮城革新懇)

日本の経済を国民本位に転換し、くらしと営業が豊かになる日本と宮城。日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本。日米安保条約をなくし平和な日本をめざしましょう。

◆宮城県平和委員会

米中の対立激化の中、日本が戦争にまきこまれる危険が高まっています。「わが街を戦争の拠点にしない」を合言葉に、日本と東アジアの平和構築のために頑張ります。

◆全日本年金者組合宮城県本部

コロナ禍を労働者の団結で乗り越えよう!高齢者の「現在」と若い人の「将来」を奪う年金制度は最悪です。「若者も高齢者も安心できる年金と医療制度の実現」に向けて皆さんと連帯して頑張ります。

◆全日本建設交運一般労働組合宮城県本部

公契約条例の制定で賃金の引き上げを!トラック産業の長時間労働をなくせ!アスベスト・じん肺など職業病をなくせ!生活困窮者の生活を守る支援法の活用を!

◆宮城自治体一般労働組合

第92回メーデーおめでとうございます。わたし達の組合は1人でも加入できる公務関連の組織です。憲法をいかし「住民のいのちとくらしを守りきる社会の実現」めざし奮闘!

◆宮城県学習協議会

デジタル改革関連法案は廃案に。法案は企業による個人情報 の利活用を優先し個人情報の保護・プライバシー権の保障が欠落している。監視国家体制整備法案であり廃案を求める。

◆日本国民救援会宮城県本部

プライバシーが丸裸!国が個人情報を一元管理するデジタル監視法案はいらない。仙台北陵クリニック事件一守大助さんが逮捕されてから20年。第2次再審を準備中。今こそ、警察や検察に嘘の供述・証言をせざるを得なかった関係者の話を聞くなど、事件の真相を問う大きな闘いを。

◆治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟宮城県本部

TBCラジオ制作の「いま語る昭和史の影—治安維持法の傷あと」が近日発刊される。原発再稼働・汚染水の海洋投棄など、最近の強権政治をみると戦前の復活に思えてならない。

